

北九州市立大学の東日本大震災支援

1 概要

地域共生教育センター（421Lab.）においては、被災地、被災者の直面している状況を可能な限り共感を持って把握し、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」を学生一人一人が受け止め、今何ができるか、何をすべきかを考え、組織的かつ継続的に実行することを目的とし、「東日本『絆』プロジェクト」を立ち上げた。

その後「東日本大震災」発生から10年近くの年月が過ぎ、メディアで取り上げられることも少なくなり、震災の記憶が風化していついと言わざるを得ない。現地は復興に向かっているもののまだ支援を必要としている。そのため、多くの人たちに関心を持ち続けてもらう必要がある。

現在「KITAQ[∞]『絆』復興応援プロジェクト」と名称を変更し、これまでの経験を活かしながら、北九州で災害を風化させないための活動を展開し、被災地支援を継続している。

2 実施内容

初期段階では、新聞やインターネットでの情報収集を行うとともに、北九州市の「東日本大震災支援本部」「保健福祉局絆プロジェクト」や「陸上自衛隊第40普通科連隊」へヒアリングを行い、被災地の状況を踏まえた下記の5項目を計画・実施した。

- (1) 現地派遣
- (2) 講演会の開催
- (3) 組織的な義援金集め
- (4) 避難者向けツアー
- (5) 震災を風化させないための広報啓発活動

2- (1) 現地派遣

災害発生直後、宮城県南三陸町で支援活動を行った陸上自衛隊第40普通科連隊の仲介により、学生ボランティアを南三陸町へ派遣し、がれきの撤去、義援金や物資の提供、被災者とのふれあい活動などを行った。

派遣費用については、本学後援会及び地域創生学会より助成をいただいた。

派遣概要

第一次派遣

平成23年9月16日～24日

- ・土嚢づくり
- ・側溝掃除
- ・小学校及び老人ホーム訪問



第二次派遣

平成 24 年 3 月 9 日～16 日

- ・側溝掃除
- ・南三陸町追悼式参加
- ・小学校、高校訪問
- ・のぞみ福祉作業所利用者との交流



第三次派遣

平成 24 年 9 月 10 日～18 日

- ・*絆焼うどんのふるまい
- ・のぞみ福祉作業所利用者との交流
- ・小中学校訪問
- ・義援金のお渡し



第四次派遣

平成 25 年 3 月 8 日～16 日

- ・三陸町内視察
- ・災害ボランティアセンターでの活動
- ・仮設住宅の方とのバスツアー



第五次派遣

平成 25 年 9 月 17 日～24 日

- ・小学校にて環境授業
- ・仮設住宅の方との交流
- ・のぞみ福祉作業所の道路整備



第六次派遣

平成 26 年 3 月 8 日～15 日

- ・ボランティアセンターでの漁業支援
- ・宮城大学復興ステーションにて丸太切り
- ・仮設住宅の皆さんとの交流



第七次派遣

平成 26 年 9 月 10 日～14 日

- ・義援金のお渡し
- ・被災者より災害時の話を聞く
- ・松島の語り部ツアーに参加



第八次派遣

平成 27 年 3 月 6 日～15 日

- ・義援金のお渡し
- ・南三陸観光協会へ取材
- ・酒造会社へ取材・視察



第九次派遣

平成 27 年 8 月 23 日～31 日

- ・義援金のお渡し
- ・スタッフライヤー機内誌記事の取材
- ・仮設住宅での企画イベントを開催
- ・石巻専修大学にて「復興ボランティア学」に参加



第十次派遣

平成 28 年 3 月 5 日～12 日

- ・石巻防災シンポジウムに参加
- ・義援金のお渡し
- ・絆焼うどんのふるまい
- ・ボランティアセンターにて農業支援



※絆焼うどんとは、北九州の名物「小倉焼うどん」に東北岩手県釜石市の名産品である「イカ」を使用した、北九州と東北を結ぶ食品。

2- (2) 講演会の開催

被災地の現状を正確に把握し、学生として何ができるかを考える動機づけとして、被災地で支援活動をされている方々を北九州市立大学に講師として招聘し、講演会を開催した。(全 4 回実施)

回	日時	講演者
第 1 回	平成 23 年 7 月 10 日 (日) 13:00～16:00	陸上自衛隊第 40 普通科連隊長兼 小倉駐屯地指令一等陸佐 中村 裕亮氏
第 2 回	平成 24 年 2 月 19 日 (日) 13:00～16:00	南三陸町長 佐藤 仁氏 テーマ「南三陸町の被災実態と復興への挑戦」
第 3 回	平成 24 年 7 月 8 日 (日) 10:00～12:00	社会福祉法人洗心会 のぞみ福祉作業所 支援員 田中 青志氏
第 4 回	平成 25 年 2 月 17 日 (日) 13:30～16:15	平成の森仮設住宅 自治会長 畠山 扶美氏

2-(3) 組織的な義援金集め

北九州市立大学の入学式や卒業式、大学祭等で募金活動を行った。また「わっしょい百万夏祭り」や「小倉食市・食座」などの地域イベントに参加し、東北の物産展や絆焼うどんの販売を行い、義援金を集めた。

(単位：円)

	年月	寄付先	金額
第一次派遣	平成 23 年 9 月	南三陸町役場、志津川小学校、伊里前小学校	200,000
第二次派遣	平成 24 年 2 月、3 月	南三陸町役場、戸倉小学校、名足小学校、志津川小学校、伊里前小学校、志津川高等学校	325,000
第三次派遣	平成 24 年 6 月、9 月	のぞみ福祉作業所、南三陸町役場、戸倉小学校、名足小学校、志津川小学校、伊里前小学校、戸倉中学校、志津川中学校、歌津中学校、志津川高等学校	439,465
第四次派遣	平成 25 年 3 月	南三陸町役場、のぞみ福祉作業所、戸倉小学校、名足小学校、志津川小学校、伊里前小学校	170,000
第五次派遣	平成 25 年 9 月	南三陸町役場、平成の森仮設住宅、のぞみ福祉作業所、戸倉小学校、名足小学校、志津川小学校、伊里前小学校	280,000
第六次派遣	平成 26 年 2 月	南三陸町役場、平成の森仮設住宅、のぞみ福祉作業所、戸倉小学校、名足小学校、志津川小学校、伊里前小学校	200,000
第七次派遣	平成 26 年 9 月	南三陸町役場、平成の森仮設住宅、のぞみ福祉作業所、名足小学校、伊里前小学校	240,000
第八次派遣	平成 27 年 3 月	南三陸町役場、平成の森仮設住宅、のぞみ福祉作業所、名足小学校、伊里前小学校	80,000
第九次派遣	平成 27 年 8 月	南三陸町役場、平成の森仮設住宅、のぞみ福祉作業所、名足小学校	60,000
第十次派遣	平成 28 年 3 月	南三陸町役場、平成の森仮設住宅、のぞみ福祉作業所、名足小学校	70,000
		総 額	2,064,465

2 - (4) 避難者向けツアー

北九州市に避難されている被災者の方々に、北九州市を知り、北九州市で楽しんでいただくためのイベントを行った。実施にあたり、被災者が中学生以下の子どもを持つ子育て世代が多いことから親子で楽しめる企画をたてた。また、イベントを通じて学生ボランティアと被災者との交流も目的としている。

回	日時	イベント内容	参加人数
第1回	平成23年7月24日	スペースワールド	29名
第2回	平成23年8月20日	到津の森公園	22名
第3回	平成23年11月30日	青嵐祭で芋煮会	16名
第4回	平成23年12月18日	門司港レトロ散策	13名
第5回	平成24年2月18日	自衛隊主催音楽まつりと食市食座・小倉城散策	7名

2 - (5) 震災を風化させないための広報啓発活動

震災の記憶の風化を防止し継続的な支援の必要性を啓発するために、地域や学内の様々なイベントの参加を通じて、義援金の呼びかけや出張防災教室等の広報啓発活動を行った。

(1) 小学校防災出前講座

	日時	場所	参加者数
第1回	平成23年	北九州市立青葉小学校	200名
第2回	平成27年	北九州市立徳力小学校	250名
第3回	平成27年	北九州市立広徳小学校	600名

(2) ワークショップの開催

【第1回 開催概要】

日時：平成27年10月25日（日） 10:00～15:00

場所：コワーキングスペース秘密基地

内容：東北のものを使用した石鹸づくりおよび復興に関する講演

講師：厨 勝義氏（南三陸石けん工房）

参加者数：30名

【第2回 開催概要】

日時：平成28年2月8日（月） 14:00～17:00

場所：北方市民センター

内容：石巻の大学生による被災地の状況報告会および復興ボランティア学ワークショップ

講師：石巻専修大学 山崎 泰央ゼミナール7名

参加者数：15名